

協議会だより

発行 ◆ 第五地区住民自治協議会／会長：小林 忍 編集 ◆ 総務広報部会 広報委員

健康福祉環境部会・人権教育推進委員

第五地区人権教育推進研修会

「里親」という選択

～いま、この時をこの子とともに～

6月11日（水）、中御所公民館で「里親」についての研修会を開催し、各町の区長、民生児童委員、元民生児童委員、子どもプラザや児童センター、中御所区役員の方々など27名が参加しました。「里親支援センターとともに」里親リクルーターの清水恵さんを講師にお迎えし、善光寺大本願乳児院、里親支援センター、養育里親（養子縁組を目的とせず、必要とする期間子どもを家庭で育て、子どもとその親などをサポートする里親）等について学びました。

長野県には、約600人の子どもが様々な理由で家庭から離れて暮らしていて、このうち約120人が里親家庭で暮らしているそうです。様々な子どものニーズに対応できるよう、多くの里親が必要で、また、里親家庭を応援してくれる地域づくりが大切とのことでした。清水さんのお話から、温かい愛情と理解をもって養育する「里親」という制度を深く知ることができました。



生涯学習青少年育成部会

マレットゴルフ大会

～残念！雨で途中中止！～

6月14日（土）、中御所公民館主催（第五地区共催）の第34回マレットゴルフ大会が、小学生を含む53名が参加し開催されましたが、スタートしてから約30分（5コースほどプレーが終了）した時、我慢していた雨がぽつりぽつりと降り始め、途中で中止となりました。



雨で競技中止、急いで引き上げる

短い戦いになりましたが、「来年こそは」「楽しかった」と来年の大会を楽しみにし、早急に家路につきました。

短い戦いになりましたが、「来年こそは」「楽しかった」と来年の大会を楽しみにし、早急に家路につきました。



生涯学習青少年育成部会

岡谷蚕糸博物館と原田泰治美術館へ

6月27日（金）、岡谷蚕糸博物館で明治・大正・昭和初期に、我が国の近代化を推し進めた主要産業の「製糸業」の悲しい歴史と、繭玉で作る体験教室の「白鳥」を39名の参加者で体験をしました。

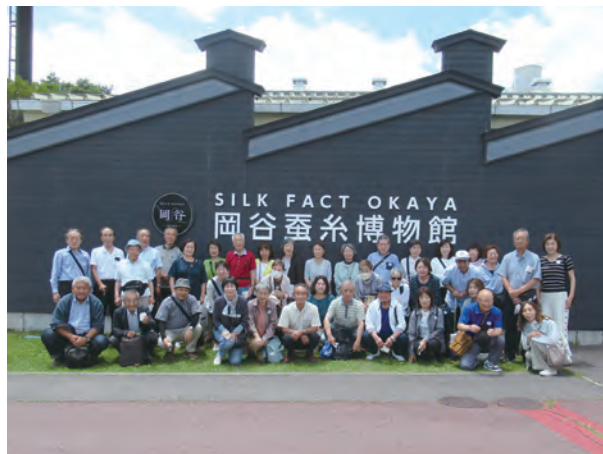
製糸業を支えた工女達は、冬の「野麦峠」を越えて岡谷の町と飛騨地方を往復していました。冬は雪が深く悪天候の時は、多くの工女達が命を落としました。

そんな悲しい歴史を聞いたあと、繭玉を使って「白鳥」の置物作りを体験しましたが、細かい作業でリタイヤの方もいましたが、楽しい経験になりました。



現在も、宮坂製糸所の工場があり、糸取りや自動操糸機などが稼働しているところを見学し、「カイコふれあいルーム」では、カイコを実際に手に触れる貴重な体験もできました。

帰りに、原田泰治美術館に立ち寄り、美術鑑賞もできました。楽しい一日になり、初めての参加者の皆さんからも、また参加したいと話がありました。



生涯学習青少年育成部会

子どもカヌー教室を開催 ～信州新町の子供さんと交流～

8月1日（金）、子ども達が夏休みに入った最初の金曜日、恒例の「子どもカヌー教室」を開催しました。

当日は、信州新町小・中学校の生徒さんと、父兄の皆さんも一緒に参加され、第五地区から28名の皆さんと合わせ、約50名のカヌー教室になりました。

今年も、信州新町のカヌークラブの皆さんや、信州新町自治協・信州新町支所の皆さんが、中心になりご指導いただき、感謝申し上げます。

カヌークラブでは新しくビックSUP（サップ）を揃えられたとのことで、3艇のビックSUPがあり、1艇に8～10名の皆さんが乗って川下



りに挑戦しました。ビックSUPの生徒たちは、地元の生徒さんと一緒に何回も水に飛び込み、暑い日を満喫し、楽しい経験ができたようです。

お昼は、信州新町支所の会議室をお借りし、地元のお弁当を頂き、岡田町・南石堂町・北石堂町・中御所の育成会の皆さんとも交流ができ、「楽しかった、水面は涼しかった」との声も聞かれ、全員元気に帰路につくことができました。



生涯学習青少年育成部会

絵解き体験会

～「かるかや」の物語に触れる～

7月9日（水）、かるかや山西光寺で4年ぶりに「絵解き体験会」を開催し、19名が参加しました。「苅萱道心石童丸御親子御絵伝」の絵解



きを、西光寺寺庭 竹澤環江さんが口演し、抑揚

のある素晴らしい語りで参加者を魅了しました。物語性豊かな絵解きの世界に引き込まれ、親子の深い絆に胸が熱くなりました。

続いて「十王巡り」「六道地獄絵」の説明は、地獄の世界を見つめ直す内容で、私たちが今後、どのように生きていくかを考えるきっかけとなりました。また、ご先祖様への感謝の気持ちを忘れず、心を込めて供養することが大切だと学びました。絵解きを通して、地域のお寺で過ごす貴重な交流の場になりました。



生涯学習青少年育成部会

松代焼体験会

～陶芸体験で交流を深める～

9月3日（水）、中御所公民館で「松代焼体験会」を開催し14名が参加しました。

松代陶苑の小沢先生と斉藤先生のご指導で、粘土1kgを使い、平皿やどんぶりなど自分の好きな作品を作りました。個性豊かな作品に挑戦している方も多く、先生方を驚かせていました。初参加の方も、「粘土の塊に苦戦したけれど、楽しく作れた」と話していました。

松代陶苑で焼き上げた作品は、約40日後に届く予定です。中御所文化芸能祭（11月開催）に出展する方もいるので、美しい青色に染まった松代焼を是非ご覧ください。



生涯学習青少年育成部会

男の料理教室（夏バージョン）

～長い歴史に終止符～

7月24日（木）、中部公民館第五分館に於いて、見直しの段階にきている、「男の料理教室」（夏バージョン）を開催しました。中御所公民館時代に遡ると、約20年の歴史ある行事でした。

今年の夏は本当に猛暑なのか？参加者が6名にとどまってしまいました。でも、最終回に相応しい内容にと、「チャーハン」2種類・しょうが焼き・ナスの油みそ・野菜サラダにミニトマトときゅうりを添えて、豪華な夕食が出来上がりました。

今回は、家で採れた野菜をお願いしたところ、きゅうり・ナス・トマト・ピーマンの差し入れがありました。

少ない参加者でしたが、思い出話に花が咲き、残念だけれど「この分館に来るのが大変になってしまった」等の意見が出て、また何時か、再開できる事を期待しお開きになりました。

長期間で指導いただいた「AB・AB」の笠原シェフ、本当にありがとうございました。



各町のお知らせ



北石堂町より

暑さを吹き飛ばせ！「ながの祇園祭」

60年ぶりの「お先乗り」

「悪疫退散・家運弥栄」を祈念してのお祭りである「ながの祇園祭」。今年は7月13日に開催。北石堂町は年番(当番町)であることから屋台を奉納。加えて今回は、北石堂町としては60年ぶりとなる「お先乗り」を出すこととなり、多くの皆さまのご協力のもと、盛大かつ厳かに奉納することができました。

お先乗りを務めたのは、北石堂町の小林泰君(山王小学校6年生)で、豪華な衣装を身にまとい馬に乗った泰君。羽織紋付姿の各町代表者を従え、祭礼参加町を巡行し、町内を清めていただきました。

北石堂町の屋台運行に際しては、実に240人もの皆さまのご協力を得ながら、こちらでも盛大に勇壮に奉納することができました。泰君の同級生が40人ほど、全国大会を間近に控えた長野パルセイロU18の皆さんや、同レディースの皆さんも50人近く参加。そして第五

地区からも長野理容美容専門学校の皆さまはじめ、お住まいの方々等20人近くが参加してくださりました。総勢240人が整然と進む姿を、山門でご覧いただいた善光寺大勧進貫主様や、市長を始めとするご来賓の方々からは「圧巻」「見事」とのお声がけをいただきました。



「ながの祇園祭」。来年は末広町、再来年は南石堂町が年番となり、お祭りを仕切っていただきます。改めて、皆さま方のご協力に感謝するとともに、引き続きのご協力をお願いいたします。

ながの祇園祭屋台運行実行委員長
(北石堂町・副区長) 加藤二佐雄
(写真提供：中御所 宮川佳久)

生涯学習青少年育成部会

フラワーアレンジメント教室

～お花好きが集まる「交流の場」～

6月6日(金)、中御所公民館でフラワーアレンジメント教室を開催し、14名が参加しました。講師の岡村幸子先生とアシスタントの村田ゆう子先生のご指導で、「父の日」をテーマにしたアレンジメントを作りました。バラ・ひまわり・カーネーション・デルフィニウム・ドラセナを使用した作品は、青い和紙で包み込むと一段と華やかな印象になりました。

参加者の方から、「先生とお話する時間も楽しい」「この教室のお花は、いつも綺麗。今回は、可愛らしい丸いバラが気に入っている。家に飾るのが楽しみ。」との感想がありました。12月はスワッグを作ります。皆様のご参加お待ちしております。



第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせください。

〒380-0833

長野市大字鶴賀権堂町2201番地20

権堂イーストプラザND 1階 第一から第五地区合同事務所

TEL

262-1512 (FAX共通)

メール

dai5@feel.ocn.ne.jp